臨時休業明けの年間指導計画参考資料（歴史的分野・第２学年）

※歴史的分野（第２学年）の教科書での時数 39 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動４時間
（第２学年の社会科全体の時数 105 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 13.5 時間）

※2020 年度は，2021 年度から全面実施される新学習指導要領への移行期間となり，地理的分野が５時間減，歴史的分野が５時間増となることを受け，一部内容の入れ替えや，時数配分の変更を行っておりますのでご留意ください。

第４章　近世の日本
（配当 21 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動３時間））

１節　ヨーロッパ人との出会いと全国統一（配当８時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
42	章の導入	● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージをも持ったり，前の時代との違いを予想したりする。	● 章扉(p.97)や p.98～99 の写真や年表，語句を通して小学校の学習を振り返り,「やってみよう」の活動に取り組み，小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え，まとめる。 ● 教師用指導書付属 CD-ROM に収載されているワークシートも活用する。 【1 時間】
43	１　キリスト教世界とルネサンス　(p.100～101) 中世ヨーロッパ ルネサンス 宗教改革	● イスラム教の広がりがヨーロッパに大きな影響を与えたことを，ルネサンスや宗教改革を通して理解する。	
44	２　ヨーロッパと外の世界　(p.102～103) 大航海時代 ポルトガルとスペイン アメリカの植民地化 オランダの台頭	● ヨーロッパ人が海外に進出した目的を，主にアジアとの関係から考える。 ● ヨーロッパの世界進出の影響について，アメリカ大陸とアフリカ大陸を中心に考える。	
45	［深めよう］歴史の中のイスラム文化 (p.136～137) イスラム教の拡大 イスラム教とヨーロッパ文化 ヨーロッパとアジアの接点	● イスラム文化とヨーロッパの文化・アジアの文化との関係を理解する。 ● イスラム文化が世界の歴史の中でどのような役割を果たしたかを考える。 ※移行措置への対応として，現行教科書 p.136～137「深めよう　歴史の中のイスラム文化」を活用し，ヨーロッパ人	

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
		来航の背景としてのアジアの交易の状況や，ムスリム商人の役割について学習する。	
46	**３　ヨーロッパ人との出会い**（p.104～105） 鉄砲の伝来 キリスト教の伝来と南蛮貿易 キリスト教の広まり	● 南蛮人が日本にもたらしたものについて，図版から読み取る。 ● この時代に伝わった鉄砲とキリスト教が，日本の社会に広まった様子を捉える。	
47 48	**４　織田信長・豊臣秀吉による統一事業**（p.106～107） 織田信長の統一事業 豊臣秀吉の統一事業 宣教師の追放	● 織田信長と豊臣秀吉の統一事業の過程を地図資料などから理解する。 ● 信長の経済政策，秀吉の宗教政策の影響について当時の法令から理解する。	
49	**５　兵農分離と朝鮮侵略**（p.108～109） 検地と刀狩 海外貿易と朝鮮侵略	● 太閤検地と刀狩によって，社会がどのように変化したかを考える。 ● 朝鮮侵略のあらましと，その後の日本に与えた影響を理解する。	
50	**６　桃山文化**（p.110～111） 豪華で壮大な文化 ヨーロッパ文化の影響	● 桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し，その特色が生まれた理由を考える。 ● ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子と，その影響を理解する。	

2 節　江戸幕府の成立と鎖国（配当 4 時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
51	**１　江戸幕府の成立と支配の仕組み**　(p.112～113) 江戸幕府の成立 幕藩体制の確立 大名や朝廷の統制	● 260 年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたかについて関心を持つ。 ● 江戸時代の政治制度のあらましと，幕府による大名や朝廷の統制について，大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。	
52	**２　さまざまな身分と暮らし**　(p.114～115) 武士と町人 村と百姓 厳しい身分による差別	● 江戸時代の身分制度と武士，百姓，町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ● 百姓や町人とは別に，差別された身分の人々がいたことの意味について考える。	
53	**３　貿易の振興から鎖国へ**　(p.116～117) 朱印船貿易と日本町 禁教と貿易統制の強化 島原・天草一揆と鎖国	● 江戸幕府の対外政策の変化について年表などから調べ，貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考える。 ● 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策とその影響を理解させる。	
54	**４　鎖国下の対外政策**　(p.118～119) 中国とオランダ 朝鮮と琉球王国 アイヌ民族との交易	● 長崎でのオランダ・中国との交易，朝鮮との交流，琉球やアイヌの人々との関係について理解する。 ● 海産物などを交易しながら独自の文化を築いていたアイヌの人々の生活に関心を持つ。	

3節　産業の発達と幕府政治の動き（配当9時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
55	**1　農業や諸産業の発達** (p.120～121) 農業の進歩 諸産業の発達	● 農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ，そのあらましを理解する。 ● 全国各地に特産物の生産がみられることを，資料から理解する。	
56	**2　交通路の整備と都市の繁栄**　(p.122～123) 交通路の整備 三都の繁栄	● 交通の発達や三都をはじめとする都市が発達したことを理解する。	
57	**3　幕府政治の安定と元禄文化**　(p.124～125) 綱吉の政治と正徳の治 元禄の学問と文化	● 徳川綱吉の政治の特色を理解する。 ● 文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解する。	
58	**4　享保の改革と社会の変化**　(p.126～127) 享保の改革 貨幣経済の広がり 百姓一揆と差別の強化	● 徳川吉宗の政治改革の様子を図版や資料から理解する。 ● 幕藩体制の基盤がゆらぎ，百姓一揆が起きたことや，その中で差別が強化されたことを理解する。	
59	**5　田沼の政治と寛政の改革**　(p.128～129) 田沼の政治 寛政の改革 財政難に苦しむ諸藩	● 田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し，目的・方法などについて共通点と相違点を考える。 ● ロシアの接近に対する幕府の外交政策を，間宮林蔵らの北方探検を通して理解させる。	
60	**6　新しい学問と化政文化** (p.130～131) 国学と蘭学 化政文化 教育の広がり	● 国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ，社会の動きとの関連を考える。 ● 寺子屋や藩校が各地に設けられたことを通して，教育への関心が高まってきたことを理解する。	
61	**7　外国船の出現と天保の改革**　(p.132～133) 異国船打払令と大塩の乱 天保の改革 雄藩の成長	● 外国船の接近とそれに対する幕府の対応について資料から理解する。 ● 大塩の乱，天保の改革について調べ，幕府政治にどのような変化が見られたのかを考える。	
－	**［深めよう］江戸のエコ社会**　(p.138)	● 近世の江戸の様子について調べ，江戸時代の人々の生活に	

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
	着物や生活用品のリサイクル リサイクル商品としての肥料	ついて理解する。 ● 江戸で行われていたさまざまなリサイクルから，現代の生活でも実践できる内容を考える。	
62 63	章のまとめ	● 言語活動を通してこの時代を大観し，時代の特色を捉える。	● p. 140 で第 4 章での学習を振り返り，語句の確認や幕藩体制の整理，学習内容の確認の問いに取り組む。 ● 確認した内容を基に，p. 139 の「この時代の特色をとらえよう」の「ディスカッションをしてまとめよう」を参考に，学習内容の振り返りと各身分の活躍についてのまとめに個別に取り組み，それを基に，時代の特色についての自分の考えを深め，まとめる。 【2 時間】

第５章　開国と近代日本の歩み
（配当 25 時間・うち第２学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動１時間）

１節　欧米の進出と日本の開国（配当９時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
64	章の導入	● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージを持ったり，前の時代との違いを予想したりする。	● 章扉（p.141）や p.142～143 の写真や年表，語句を通して小学校の学習を振り返り，「やってみよう」の活動に取り組み，小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え，まとめる。 ● 教師用指導書付属 CD-ROM に収載されているワークシートも活用する。 【1 時間】
65	１　近代革命の時代 （p.144～147） ヨーロッパの動向 イギリス革命 アメリカ合衆国の独立 啓蒙思想	● 欧米諸国が，近代革命を通して近代国家を形成していった過程を理解する。 ※移行措置の内容だが，現行で十分対応しているため，教科書をそのまま活用した指導が可能。 ● 欧米諸国の近代社会の成立の様子に関心を持ち，資料を活用して調べる。	
66	フランスの絶対王政 フランス革命		
67	２　産業革命と 19 世紀のヨーロッパ （p.148～149） 産業革命 資本主義と社会主義 19 世紀のイギリスとドイツ	● 産業革命を経て，産業や社会の仕組みが大きく変化したことを理解する。 ● 革命の時代を経て，近代国家を確立する動きがヨーロッパ諸国に広がっていく過程に気付く。	
68	３　ロシアとアメリカの発展（p.150～151） ロシアの拡大 アメリカ合衆国の成長	● ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で，さまざまな問題を抱えていたことを理解する。 ● ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し，発展していく過程に気付く。	
69	４　ヨーロッパのアジア侵略（p.152～153） ヨーロッパとアジアの力関係 アヘン戦争と中国の半植民地化 インドの植民地化	● イギリスを中心とするヨーロッパ諸国が，工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジア侵略を進めた過程を理解する。 ● ヨーロッパのアジア侵略とそれに対するアジア諸国の動きを多面的・多角的に考える。	
70	５　開国と不平等条約 （p.154～155）	● ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調	

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
	ペリーの来航 不平等な通商条約	べ，条約の内容を理解する。	
71	**６　尊王攘夷運動と開国の影響**　(p.156～157) 尊王攘夷運動の高まり 開国の経済的影響 世直し一揆とええじゃないか	● 対外政策を転換して開国したことや，開国したことによる国内への影響について，資料を使って考える。	
72	**７　江戸幕府の滅亡**　(p.158～159) 倒幕への動き 大政奉還と王政復古	● 倒幕への動きや幕府の対応，外国の動きなどを調べ，江戸幕府の滅亡までの経緯をまとめる。 ● 開国による政治的・社会的な影響に触れ，それが倒幕の動きを生み出したことに気付く。	

2節　明治維新（配当8時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
73	**１　新政府の成立** (p.160～161) 明治維新 藩から県へ 身分制度の廃止	● 新政府の方針や諸改革の内容を調べ，中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 ● 身分制度の廃止の意義と問題点について考える。	
74 75	**２　明治維新の三大改革** (p.162～163) 三大改革 学制の公布 徴兵令 地租改正	● 新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ● 諸改革が人々へもたらした影響について考える。	
76	**３　富国強兵と文明開化** (p.164～165) 富国強兵 殖産興業政策 文明開化 新しい思想	● 新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ● 文明開化など欧米文化が流入したことによって，人々の生活が大きく変化したことに気付く。	
77	**４　近代的な国際関係** (p.166～167) ぶつかる二つの国際関係 岩倉使節団 清や朝鮮との関係	● 岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響，明治初期の外交政策について考える。 ● 近代的な国際関係の下で進められた，明治初期の外交政策を理解する。	
78	**５　国境と領土の確定** (p.168～169) 国境と領土の確定 北海道の開拓とアイヌの人々 沖縄県の設置と琉球の人々	● 領土の確定について，近代的な国際関係の下で新政府が行った外交政策を理解する。 ※移行措置の内容だが，p.252～253 の「歴史にアクセス」の内容も含めて，現行で十分対応しているため，教科書をそのまま活用した指導が可能。 ● 北海道の開拓と産業の関係，沖縄県成立の過程での中国の関係について考える。	
79	**６　自由民権運動の高まり** (p.170～171) 自由民権運動と士族の反乱 高まる自由民権運動 国会の開設をめぐる対立	● 自由民権運動が始まった経緯や，改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。 ● 自由民権運動の高まりを政党の結成や憲法草案などの資料から考える。	
80	**７　立憲制国家の成立**	● 政府が主導した憲法制定の過	

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
	(p.172～173) 憲法の準備 立憲制国家の成立 帝国議会の開設	程を調べ，憲法の特色を理解する。 ● 憲法に基づいて議会政治が始まり，立憲制国家が成立したことを捉える。	